



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月14日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福山 裕二  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1481  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	21,284	2.3	3,016	△3.9	2,981	△2.2	1,735	△0.9
2019年3月期	20,798	3.5	3,139	△2.1	3,047	△2.5	1,751	1.6

(注) 包括利益 2020年3月期 1,937百万円(1.0%) 2019年3月期 1,919百万円(△28.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	151.22	—	9.2	10.2	14.2
2019年3月期	152.65	—	9.9	10.8	15.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 ー百万円 2019年3月期 ー百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	29,629	21,480	65.8	1,698.06
2019年3月期	28,745	20,430	63.5	1,590.69

(参考) 自己資本 2020年3月期 19,488百万円 2019年3月期 18,256百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	4,093	△1,724	△961	8,530
2019年3月期	1,435	△985	△1,219	7,138

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00	321	18.3	1.8
2020年3月期	—	12.00	—	20.00	32.00	367	21.2	1.9
2021年3月期(予想)	—	12.00	—	20.00	32.00		27.2	

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,000	△6.0	2,500	△17.1	2,400	△19.5	1,350	△22.2	117.63

(注) 本業績予想には現状において新型コロナウイルス感染症の影響を加味しております。なお、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	11,500,000株	2019年3月期	11,500,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	23,106株	2019年3月期	23,106株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	11,476,894株	2019年3月期	11,476,895株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	18,206	5.7	1,635	△3.1	2,264	△1.8	1,852	△2.3
2019年3月期	17,221	5.8	1,687	4.6	2,306	22.4	1,895	29.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	161.37		—					
2019年3月期	165.12		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	25,809		17,988		69.7	1,567.34		
2019年3月期	24,427		16,525		67.7	1,439.90		

(参考) 自己資本 2020年3月期 17,988百万円 2019年3月期 16,525百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他	
(1) 役員の変動 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期における我が国経済は、通商問題等の影響による輸出や生産の弱さが継続していた中でも設備投資や雇用情勢に改善が見られていましたが、期終盤にかけて新型コロナウイルス感染症の影響が顕在化し始めました。

当社グループを取り巻く事業環境は、自動車や情報関連財市場の成長減速並びにサプライチェーンにおける在庫調整が継続し、特に電子材料の事業が大きく影響を受けました。

光学レンズ材料やビタミンE・酸化防止剤等クレゾール誘導品は堅調な需要の継続が見られました。

また期終盤において新型コロナウイルス感染症の影響が見られた製品もありました。

この結果、当社グループの当期の業績は、売上高21,284百万円(前期比2.3%増)、営業利益3,016百万円(同3.9%減)、経常利益2,981百万円(同2.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1,735百万円(同0.9%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### <化学品>

##### ・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン、スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる液晶ポリマー(LCP)や医療、航空機分野等で使用されるポリフェニルスルホン(PPSU)の原料として使用されております。

当期においては、上期の国内LCP向け需要減に加え、海外向け販売は特に1-3月新型コロナウイルス感染症の影響があり、売上高は前期を下回りました。

##### ・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当期においては、ビタミンE原料及び酸化防止剤向け共に需要は堅調に推移し、市況も継続して上昇した結果、売上高は前期を上回りました。

この結果、化学品セグメントの売上高は、9,714百万円(前期比3.1%増)、総売上高に占める割合は45.6%となり、セグメント利益は965百万円(同0.4%増)となりました。

#### <機能材料>

##### ・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ(液晶・有機ELディスプレイ)等の製造過程で使用されております。

当期においては、米中貿易摩擦等の影響から電材需要が減速し、年間を通じて半導体・フラットパネルディスプレイ関連川下製品の在庫調整が継続した結果、売上高は前期を下回りました。

##### ・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂(自動車用部品、光学・電子部品用途向け)や特殊エポキシ樹脂(半導体封止材、積層板用途向け)の原料として使用されております。

当期においてはスマートフォン市場が減速したものの、当社の光学レンズ向け特殊ビスフェノールは堅調に推移し、成形材分野の一部も増加傾向にあることから、売上高は前期を上回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、5,812百万円(前期比13.8%増)、総売上高に占める割合は27.3%となり、セグメント利益は938百万円(同19.6%増)となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しております。

当期においては、自動車市場全般の落ち込み、サプライチェーンにおける在庫調整に加え為替変動の影響を受け、売上高は前期を下回りました。

・受託品

受託品の売上高はほぼ前期並みとなりました。

この結果、工業材料セグメントの売上高は、5,329百万円(前期比8.1%減)、総売上高に占める割合は25.0%となり、セグメント利益は1,845百万円(同5.5%減)となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は427百万円(前期比9.5%減)、総売上高に占める割合は2.0%となり、セグメント利益は36百万円(同11.5%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

流動資産は、現預金の増加(1,392百万円)、原材料及び貯蔵品の減少(151百万円)等により、対前期比1,236百万円増加し、19,626百万円となりました。

固定資産は、機械装置及び運搬具の減少(677百万円)等により、対前期比353百万円減少し、10,002百万円となりました。

この結果、資産合計は、対前期比883百万円増加し、29,629百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加(108百万円)、退職給付に係る負債の増加(114百万円)、設備関係未払金の減少(559百万円)等により、対前期比166百万円減少し、8,148百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加(1,391百万円)、非支配株主持分の減少(182百万円)等により、対前期比1,050百万円増加し、21,480百万円となりました。

この結果、自己資本比率は65.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、対前期比2,658百万円増加し、4,093百万円の収入となりました。これは主に運転資金が減少したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、対前期比739百万円減少し、1,724百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、対前期比257百万円増加し、961百万円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が減少したこと等によるものであります。

この結果、現金及び現金同等物の当期末残高は対前期比1,392百万円増加し、8,530百万円になりました。

(4) 今後の見通し

次期の連結業績予想につきましては、以下のとおり見込んでおります。

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	増減率 (%)
売上高	21,284	20,000	△1,284	△6.0
営業利益	3,016	2,500	△516	△17.1
経常利益	2,981	2,400	△581	△19.5
親会社株主に帰属する当期純利益	1,735	1,350	△385	△22.2
1株当たり当期純利益(円)	151.22	117.63	—	—

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,138	8,530
売掛金	6,092	6,154
商品及び製品	3,363	3,402
仕掛品	311	365
原材料及び貯蔵品	1,234	1,082
その他	250	90
流動資産合計	18,389	19,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,044	5,232
減価償却累計額	△3,144	△3,224
建物及び構築物（純額）	1,899	2,008
機械装置及び運搬具	36,307	36,398
減価償却累計額	△29,837	△30,606
機械装置及び運搬具（純額）	6,470	5,792
土地	546	543
建設仮勘定	147	488
その他	1,561	1,607
減価償却累計額	△1,243	△1,358
その他（純額）	317	249
有形固定資産合計	9,381	9,082
無形固定資産		
その他	50	36
無形固定資産合計	50	36
投資その他の資産		
投資有価証券	174	14
繰延税金資産	699	749
その他	50	120
投資その他の資産合計	924	883
固定資産合計	10,356	10,002
資産合計	28,745	29,629

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,066	2,174
短期借入金	1,000	1,000
未払金	611	525
未払法人税等	371	407
設備関係未払金	898	339
役員賞与引当金	32	37
その他	452	708
流動負債合計	5,433	5,192
固定負債		
リース債務	760	685
退職給付に係る負債	2,074	2,188
その他	47	81
固定負債合計	2,882	2,955
負債合計	8,315	8,148
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	15,748	17,139
自己株式	△14	△14
株主資本合計	18,247	19,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	—
為替換算調整勘定	10	△89
退職給付に係る調整累計額	△46	△60
その他の包括利益累計額合計	8	△150
非支配株主持分	2,174	1,991
純資産合計	20,430	21,480
負債純資産合計	28,745	29,629



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	20,798	21,284
売上原価	15,548	15,969
売上総利益	5,249	5,315
販売費及び一般管理費	2,110	2,298
営業利益	3,139	3,016
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	3
スクラップ売却益	3	2
投資有価証券売却益	—	36
受取保険金	—	32
その他	1	2
営業外収益合計	20	77
営業外費用		
支払利息	39	36
為替差損	10	14
撤去費用	43	46
固定資産除却損	15	14
その他	2	0
営業外費用合計	111	112
経常利益	3,047	2,981
税金等調整前当期純利益	3,047	2,981
法人税、住民税及び事業税	862	839
法人税等調整額	△21	△37
法人税等合計	840	802
当期純利益	2,207	2,178
非支配株主に帰属する当期純利益	455	443
親会社株主に帰属する当期純利益	1,751	1,735

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,207	2,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△45
為替換算調整勘定	△202	△181
退職給付に係る調整額	△68	△13
その他の包括利益合計	△288	△240
包括利益	1,919	1,937
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,555	1,576
非支配株主に係る包括利益	364	361

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株 主持分	純資産合 計
	資本金	資本剰余 金	利益剰余 金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券 評価差額 金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計 額	その他の 包括利益 累計額合 計		
当期首残高	1,500	1,013	14,317	△14	16,816	61	121	21	205	2,388	19,410
当期変動額											
剰余金の配当			△321		△321						△321
親会社株主に帰属す る当期純利益			1,751		1,751						1,751
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						△16	△111	△68	△196	△214	△410
当期変動額合計	—	—	1,430	△0	1,430	△16	△111	△68	△196	△214	1,019
当期末残高	1,500	1,013	15,748	△14	18,247	45	10	△46	8	2,174	20,430

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株 主持分	純資産合 計
	資本金	資本剰余 金	利益剰余 金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券 評価差額 金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計 額	その他の 包括利益 累計額合 計		
当期首残高	1,500	1,013	15,748	△14	18,247	45	10	△46	8	2,174	20,430
当期変動額											
剰余金の配当			△344		△344						△344
親会社株主に帰属す る当期純利益			1,735		1,735						1,735
自己株式の取得					—						—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						△45	△100	△13	△158	△182	△341
当期変動額合計	—	—	1,391	—	1,391	△45	△100	△13	△158	△182	1,050
当期末残高	1,500	1,013	17,139	△14	19,638	—	△89	△60	△150	1,991	21,480

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,047	2,981
減価償却費	1,424	1,503
固定資産除却損	15	14
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△30	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	185	114
受取利息及び受取配当金	△14	△3
受取保険金	—	△32
支払利息	39	36
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△36
売上債権の増減額 (△は増加)	△844	△87
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△851	50
仕入債務の増減額 (△は減少)	△466	113
その他	47	238
小計	2,553	4,893
利息及び配当金の受取額	14	3
保険金の受取額	—	32
利息の支払額	△39	△36
法人税等の支払額	△1,093	△799
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,435	4,093
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△891	△1,906
投資有価証券の売却による収入	—	144
その他	△94	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△985	△1,724
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△249	—
配当金の支払額	△321	△343
非支配株主への配当金の支払額	△578	△543
リース債務の返済による支出	△70	△74
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,219	△961
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△780	1,392
現金及び現金同等物の期首残高	7,918	7,138
現金及び現金同等物の期末残高	7,138	8,530

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本店に製品別の事業部を置き、各事業部は所管する製品について、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントで構成されており、「化学品」、「機能材料」及び「工業材料」の3つを報告セグメントとしております。

「化学品」は、ビスフェノール、クレゾール誘導品等を生産・販売しております。「機能材料」は、電子材料、特殊ビスフェノール等を生産・販売しております。「工業材料」は、主にハイビス社の特殊ビスフェノール、受託品等を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

なお、当社グループは、内部管理上、事業セグメントに資産を配分しておりませんが、減価償却費及びのれんの償却額は配分しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,419	5,108	5,797	20,326	472	20,798	—	20,798
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,419	5,108	5,797	20,326	472	20,798	—	20,798
セグメント利益	961	785	1,953	3,699	41	3,741	△601	3,139
その他の項目								
減価償却費	330	378	662	1,370	18	1,389	35	1,424

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額△601百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△601百万円が含まれております。  
 3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,714	5,812	5,329	20,857	427	21,284	—	21,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,714	5,812	5,329	20,857	427	21,284	—	21,284
セグメント利益	965	938	1,845	3,749	36	3,786	△769	3,016
その他の項目								
減価償却費	324	437	649	1,412	17	1,430	73	1,503

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。  
 2. セグメント利益の調整額△769百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△769百万円が含まれております。  
 3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,590.69円	1,698.06円
1株当たり当期純利益	152.65円	151.22円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権等潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,751	1,735
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,751	1,735
期中平均株式数(千株)	11,476	11,476

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、本日開示の「取締役の変動に関するお知らせ」をご参照ください。